



安心して暮らせる地域を目指して

# あんしん

NPO



Vol. 70

令和4年  
10月号

発行者／NPO法人支援センターあんしん

〒948-0065 新潟県十日町市高田町3丁目西371-1

Tel. 025-757-5511 Fax. 025-757-1144

- ワークセンターあんしん ● きぼうワークス
- ケアセンターハーモニー ● グループホーム

URL <http://www.npo-ansin.jp/>

支援センターあんしん 検索



## 「NPO法人支援センターあんしん」が 「新潟県知事賞」を受賞しました!!

「農福連携の部」で高い評価を得ました!  
令和4年度「県優良農業経営体等表彰」



表彰を受けた樋口会長(中央)と農業担当の田中職員(左)と農福担当の久保田常任理事(右)



荒廃地を水田に蘇らせ農業不使用の魚沼産コシヒカリも栽培しています。

「農業」という新たな仕事に汗する利用者さん達!



▶詳しくは2面上の記事に記載しています。

# 農福連携で高い評価 当法人が県知事賞に輝く!!



令和4年度「新潟県優良農業経営体等表彰式」が8月8日に開催され、農福連携

の部で「NPO法人支援センターあんしん」が最高賞の「県知事賞」を受賞しました。

令和2年から本格的に取り組んだ農福連携。各農業法人からの

作業委託に加えて、元水田の荒廃地を借り入れ水田や畑などの農地に蘇らせ、農薬無使用の魚沼産コシヒカリ作りやサツマイ



モなどの園芸栽培にも挑戦。今年から新たにエゴマ油作りや農産物新加工所での乾燥野菜づくり

にも着手。障がいの程度に関わらず農業にたずさわれる場を次々と創出しています。

十日町市自立支援協議会障がい福祉関係機関連絡調整会議就労部会や県振興局、JAらと連携し、農福連携の相談窓口として農業者の相談や福祉事業所とのマッチング体制をつくり、相互の理解促進にも貢献しており、利用者の仕事の幅を広げる取組みは他地域のモデルになると、高評価を得ました。

樋口功会長は「昨年、耕作放棄地を借りて水田と畑作を始めたばかりなので、受賞には驚いています。今後は畑で採れた野菜などを加工して乾燥野菜などにも挑戦して、障がい者が少しでも高い工賃が得られるような農業を目指していければと思います」と意欲を示しています。



## 「きぼうワークス」全員が みはらしCafeに行ってきました!!



7月19・20日の2日に分けて、十日町ふれあいの宿交流館の「みはらしCafe」に行ってきました。どのメニューもすごくおいしく、作業をがんばるきぼうワークスでは束の間の休息になりました。

なんと今回は、会長奥様の樋口春代さんにご馳走して戴きました。本当にありがとうございました。



Aチーム

## ある日のハーモニー

ハーモニーのとある1日を  
皆さんに紹介したいと思います。

Bチーム

当たったよ!!!



大きく  
育ってね



ピーマン  
出来たよ!!

みんなで  
ハイ! ポーズ!!



ハーモニーで  
収穫しました!



お神輿  
ワッショイ!  
ワッショイ!!



どれに  
しようかな~♪



これに決めた!



何を買った  
でしょう~♪



お願い  
しま~す!



## 『GH すまいる家』に何かあったか? 劇場 2

グループホームの日常をご紹介します!!

誕生会と  
"岡食堂"のコラボ



俺主演

祝

当GHから結婚により  
巣立った方は初めてです!!



完成! GH 金剛荘  
リフォーム後



俺、盛り  
上げま~す♪



利用者さんのご結婚が決まりました。  
GHを卒業しました!



ECHIGO-TSUMARI  
FIELD 20

金剛荘リフォームで  
暫し、キナーレ  
外湯を満喫



枝豆流 家元

剪定中

## たんぼウオーキング振り返り 今年も10回近く除草作業に汗！

農業不使用の魚沼産コシヒカリ作り2年目の「あんしん田ぼちゃん(水田)」で8月31日、稲刈り前最後の除草作業「田んぼウオーキング」が行われ、「きぼうワークス」と「ワークセンタールあんしん」の利用者さんと職員の計20人近くが汗を流しました。

5月19日に手植えの田植えを行い、

9月下旬頃の手刈り稲刈り作業を予定する田ぼちゃん。水田除草機作業を含めて水田内除草作業はこれで延べ10回近くとなりました。



初期の作業



中期の作業



最終日の作業



最終日も大変な作業

草が小さい初期は水田に押し込む作業がメインも、最終日は丈が伸びた雑草を除去する作業となり、「まだ地面がぐちゃぐちゃして歩きづらい」と思ったより草が多いよ」と苦勞しつつも励まし合って頑張りました。

## 駅東口公園で出店販売 きぼうとワークが芸術祭で

十日町駅東口公園で8月19日と26日の2日間、大地の芸術祭作品前で午前は「きぼうワークス」、午後から「ワークセンタールあんしん」による出店販売が行われました。

同所は日比野克彦「喫茶TURN」と、ひびのこづえ「10th Day M ARKET」の作品があり、大地の芸術祭来訪者用の検温コーナードも設置されたスポットで、本来なら8月初旬から毎週金曜日に4回実施予定も、新型コロナウイルスの広がりで前



きぼうWも元気いっぱい



ワークセンタールあんしんによる出店の様子



半2回は中止でした。

両日とも2人の利用者さんに職員が付きそい行われ、可愛いと人気の「感謝の絵手紙」、「暖さんミサンガ」、ビーズ製品、着物地の手作りエコバック、2個組トイレットペーパーなどが売れていました。

## カラーデザイン トイレットペーパー

飾る・贈る トイレットペーパー

NEW! 初秋2022

期間限定



ビューイングムーン オータム コスモス

全て2個セットで各 350円(税込)

## ★初秋セット

セット内容

NEW! ビューイングムーン

17組

オータム

17組

コスモス

16組

合計50組(100個)

17,500円(税込)

(送料・代引き手数料別)

※後等はオプションで別途お買い求め下さい。

その他の組み合わせ、種類も多数ございます。お気軽にお問い合わせください。

支援センターあんしん 検索

## 編集後記

当法人がなんと「県知事賞」を受賞し、新刊本の題材になるなど嬉しい出来事が多かった夏も終わり、いよいよ実りの秋が訪れました。稲刈り作業も進み、そろそろエゴマの収穫でしょうか。切干し大根の生産も予定するなど、体験したことのない事柄も多く、利用者さんと共に新鮮な気持ちでこれからも歩んでいきたいと思います。(実)

## 「あんしん」会員募集

NPO法人支援センターあんしんの活動をご支援くださる会員を募集しています。会員の皆様には広報紙や行事、講演会などの情報・案内をお届けいたします。

正会員

入会金……………10,000円

年会費1口……………5,000円

賛助会員・個人

年会費1口……………3,000円

賛助会員・法人

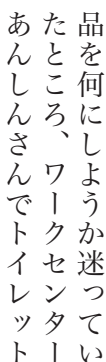
年会費1口……………10,000円

特別賛助会員

月会費1口……………10,000円



みんなの感謝の気持ちをお届けします！



## 妻有ポークステーキとワイン

ペーパーのオリジナルデザ  
イン包装をして頂けると知  
り、お客様への感謝の気持  
ちでお願いしました」とお  
話し下さいました。

完成したオリジナルTP  
に対し「なかなか目立つて  
良いですね。何度も校正を  
お願いしてご迷惑をお掛け  
しましたが、良い物が出来  
て本当に良かったです」と  
目を細め、「今回のトイレッ  
トペーパーでお世話になつ  
たので、今後も何かしら『あ  
んしん』さんに関わってい  
きたいと思います」と言葉  
添えて頂きました。

またレストランについて  
「自慢の逸品は肉料理です。  
特に地元の名産・妻有ポー  
クの豚肉を食べて欲しいで  
すね。オムライスも創業当  
初から人気でお薦めですよ」  
と満面の笑顔でお話し下さ  
いました。

同店では妻有ポークス  
テーキとワインのディナー  
が人気を集めています。

おえて頂きました。

またレストランについて「自慢の逸品は肉料理です。特に地元の名産・妻有ポークの豚肉を食べて欲しいですね。オムライスも創業当初から人気でお薦めですよ」と満面の笑顔でお話し下さいました。

同店では妻有ポークス  
テーキとワインのディナー  
が人気を集めています。

オリジナルデザインの  
TP承ります

ロゴや新デザインを使った包装紙を印刷する時は、版代が1千円〜3千円（作業内容により変化）。その印刷した包装紙で包んだ完成TPは、シングルなら1個130円、ダブルなら1個135円、2個組のラッピング20円で提供させて頂きます。

詳しくはワークセンターあ  
んしん（電話025-755  
-5621）へ。



ゆっくり楽しめる店内の様子

# 農福連携で新たな施設外就労 「パートナー」での新作業始まる 農産物乾燥加工で新産業化めざす



▶ミニトマトを並べる作業

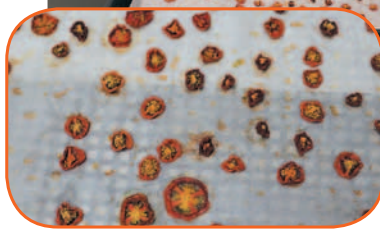


▶並べたトマトを乾燥機に



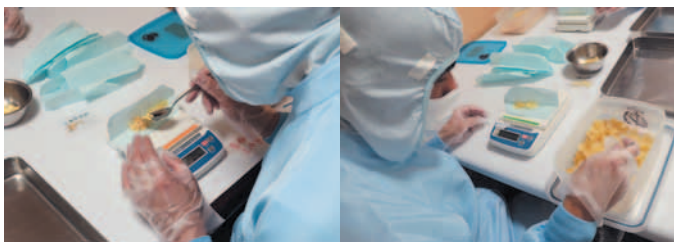
▶乾燥完了

◀仕上がりはこんな感じ



ワークセンターあんしん手前の民家を改修して開設された(株)ヒグチ所有の農産物乾燥加工所「パートナー」でこのほど、農福連携の施設外就労としてワーク利用者として職員による農産物乾燥作業と乾燥野菜の計量作業などが始まりました。

長岡市の六次産業認定事業者の事業を引き継ぎ整備された「パートナー」。既にあんしんHPでは、注文を



乾燥野菜計量



完成小袋封作業



計量野菜を小袋詰め

受注するオンラインショップ「いただきMART」が立ち上がっており、実際に乾燥野菜の計量・パック作業などの依頼も入っています。秋には地元農家から仕入れた大根を使い栄養満点で美味しい「切り干し大根」の製造加工も行われる計画で、ミニトマトを使った乾燥野菜試作品開発にも取組むなど、少しずつ慣らし運転が始まっています。

が展開できるものと期待されています。将来的にはこれらの取組により、地元農家への支援と協働、利用者への新たな工賃アップにつながる仕事づくり、十日町市の新たな特産品開発など、農福連携による新たな産業形態としての発展が期待されています。

完成した  
乾燥野菜

